



平成 30 年 9 月 14 日  
海 上 保 安 庁

## 関西国際空港周辺海域における荒天避泊の指導等について

～タンカーの関西国際空港連絡橋衝突事故への対応～

海上保安庁では、関西国際空港連絡橋へのタンカー衝突事故を受け、荒天時の錨泊について強力に指導することとし、併せて、船社・代理店等の関係団体（別添参照）に広く今般の事故を周知するとともに、荒天避泊にかかる指導を要請しました。

### 1. 事故概要

今般発生した台風 21 号による災害では、9 月 4 日（火）、関西国際空港周辺海域に荒天避泊をしていたタンカーが走錨し、同空港連絡橋に衝突したことにより、船舶の航行の安全が阻害されるとともに、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生しました。

### 2. 当庁の対応

#### (1) 走錨防止に関する指導の強化

第五管区海上保安本部において、同空港周辺海域における同種事故の再発を防ぐ観点から、荒天を避けるために大阪湾において錨泊する場合、連絡橋等との衝突を十分回避できる海域において錨泊するよう強力に指導するとともに、走錨監視を厳重に行うこととしました。

#### (2) 関係団体への要請等

船社・代理店等の関係団体に対し、連絡橋等との衝突を十分に回避できる海域に錨泊するよう、本事故について広く周知するとともに、関係船舶が荒天を避ける場合の錨泊場所について指導するよう要請しました。

### 3. 今後の対応方針

今後、事故の調査結果や関係者の意見を踏まえ、より詳細な運用を決めていくこととしております。

## 関係各位送付先

- 一般社団法人日本船主協会会長
- 一般社団法人日本旅客船協会会長
- 一般社団法人日本長距離フェリー協会会長
- 日本内航海運組合総連合会会長
- 全国内航タンカー海運組合会長
- 外国船舶協会会長
- 一般社団法人日本船長協会会長
- 日本船舶代理店協会
- 外航船舶代理店業協会会長